

平成 29 年度

上下水道事業部

重点施策・事業の進捗状況

(1) 水道管路更新・耐震化事業

目標	水道水を安定的に供給するため、水道管路の更新及び耐震化を効率的かつ効果的に進めるとともに、引き続き上水道施設整備基本計画の平成 30 年度策定に向けて取り組みます。
取り組み	約 10km の水道管路の更新、耐震化、改良事業を進めるとともに、鉛製給水管の取替え及び上水道施設整備基本計画の策定を進めます。 平成 29 年度当初予算：2,686,000 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

水道管路の更新、耐震化、改良事業に係る工事を平成 29 年度の計画に基づき発注した。また、上水道施設整備基本計画の策定については、既存の水道施設の耐震性能や劣化状況を適切に把握するため、資料調査や現場調査等を行い、更新の必要性や優先順位を検討するための施設評価に取り組んでいる。

(2) 中宮浄水場更新事業

目標	持続可能な水道を実現するための重点施策として、新たに建設する浄水場からの給水を平成 37 年度から開始することを目途に中宮浄水場の更新事業を進めます。
取り組み	基本構想により検討した計画諸元に基づき、施設計画や施工方法の検討を行う基本設計に取り組むとともに、更新用地の既存建物の解体工事を完了します。 平成 29 年度当初予算：115,000 千円

9 月末の 進捗状況 【○】

更新事業検討委員会において、浄水場の規模、処理方式などの検討、及び「枚方市 PPP/PFI 手法活用優先的検討の基本方針」に基づき PPP 手法の導入に向けた検討を進めている。また、更新用地の既存建物の解体工事を当初の予定通り完了した。

(3) 応急給水拠点の整備

目標	大規模災害に備え、市民生活に最低限必要な水を確保し、応急的に給水ができる応急給水拠点の整備を進めます。 完成目標：鷹塚山配水場（平成 32 年度）、津田低区配水場（平成 33 年度）
取り組み	平成 28 年度に着手した鷹塚山配水場更新工事を引き続き進めるとともに、津田低区配水場耐震化工事の実施設計に着手します。 平成 29 年度当初予算：176,000 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	引き続き、鷹塚山配水場更新工事を進めるとともに、津田低区配水場耐震化工事の実施設計に着手した。
----------------------	---

(4) 下水道施設維持管理事業	
目標	浸水被害対策等に備え、下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修等を迅速に実施します。
取り組み	下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修を実施するとともに、危険性・緊急性の高い老朽化した下水道管を更生し、適正な機能保全を図ります。 平成 29 年度当初予算：1,081,757 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	直営、委託等により下水道施設（水路、管渠）の清掃及び維持補修を行うとともに、老朽化した下水道管の機能を保全するために更生工事の発注を行った。
----------------------	--

(5) 公共下水道汚水整備事業（住居系地域）	
目標	河川や水路、ため池などの水質汚濁防止を図り、安全で良好な生活環境が確保されたまちをめざすため、公共下水道の整備を進めます。
取り組み	住居系地域の汚水整備については、平成 30 年度概成をめざし、昨年度に引き続いて中部及び東部地域を中心に整備を進めるとともに、未承諾地区や整備困難地区の解消に取り組めます。 平成 29 年度当初予算：1,143,010 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	平成 29 年度の計画に基づく整備予定地区の工事及び平成 30 年度整備予定地区の実施設計委託を発注した。また、整備困難地区（2 地区）について、整備に向けた実施設計委託を発注した。
----------------------	---

(6) 公共下水道汚水整備事業（工場等事業所系地域）	
目標	工場等事業所系の汚水整備については、「行政と事業者」が協力し合うことを基本としながら実情に応じた効率的、効果的な手法で水循環の保全を図ります。
取り組み	枚方七企業団地において未整備である枚方工業団地については、平成 27 年度に着手し、今年度も引き続き、平成 30 年度の完成を目途に整備を進めます。また、枚方東部企業団地については、平成 31 年度からの整備に向けた基本設計に着手します。

平成 29 年度当初予算：97,000 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	枚方工業団地において、今年度予定している約 0.2km について、整備工事を発注した。また、枚方東部企業団地については、基本設計委託の発注を行った。
----------------------	--

(7) 下水道施設の長寿命化対策	
目標	市民生活の安全確保を図るため、予防保全型を重視した計画的な下水道施設の改築更新を推進し、下水道施設の長寿命化と維持管理に係るライフサイクルコストの最小化を図ります。
取り組み	平成 28 年度に策定した下水道長寿命化計画に基づき、污水管渠及びポンプ場遠方監視設備の実施設計に取り組みます。
平成 29 年度当初予算：92,085 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	污水管渠の長寿命化を目的とした下水道施設実施設計委託を発注した。また、ポンプ場遠方監視設備についても、更新工事実施設計委託の発注を行った。
----------------------	---

(8) 公共下水道雨水整備事業	
目標	浸水に強い安全で安心して快適に暮らせるまちとするため、雨水管渠やポンプ場の整備を推進し、浸水被害の軽減に取り組みます。
取り組み	浸水対策として、新安居川・溝谷川ポンプ場の排水能力向上に向けた整備や、下水道事業計画に基づいた雨水管渠・水路の整備を推進します。
平成 29 年度当初予算：1,750,469 千円	

9 月末の 進捗状況 【○】	平成 29 年度の計画に基づき、工事の着手または発注の準備中である。新安居川・溝谷川ポンプ場の継続事業も含め、引き続き事業を推進している。
----------------------	---

(9) 下水道浸水被害軽減総合事業	
目標	近年の計画降雨を上回る集中豪雨対策として、「下水道浸水被害軽減総合計画」に基づき、雨水貯留施設の整備を進め浸水被害の軽減に取り組めます。
取り組み	下水道浸水被害軽減総合計画に基づき、蹠排水区では、サダ雨水貯留管整備工事を引き続き進め、楠葉排水区では、楠葉雨水貯留管整備工事に着手します。 平成 29 年度当初予算：1,984,000 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	蹠排水区においては、雨水貯留管の整備工事に取り組んでいる。また、楠葉排水区では、雨水貯留管の整備工事発注に向けて、現在積算中である。
----------------------	--